

## 満足度調査（2019年度） 分析結果

学習支援センター

2020年5月30日

本資料は、2019年12月16日から2020年1月28日にかけて学習支援センターが実施した「後期学修時間および満足度調査」に関して、満足度に関する部分の回答内容を分析したものである。この調査は、学修支援と学生支援に対する満足度について全学の状況を把握し、今後の改善に繋げることを目的として実施した。同様の目的で実施した調査には、2016年度「学生生活満足度調査」（全学部・全学年対象、無記名・抽出調査）、2017年度の「新入生調査」（全学部1年生対象、悉皆調査）、及び2018年度「後期学修時間および満足度調査（満足度調査の部分）」がある。今回は2018年度調査と同じ質問項目を設定し、全学部・全学年向けに実施した。

調査は、本学が学生に提供しているWebサービスを用いる方法で行った。実施に際しては、これまでと同様、教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表1に示す。社会学部4年生を除く全学部・学生から回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は45.9%で、前回（2018年度）の27.6%よりも大きく増えたものの、依然として半数を割る結果となった。今後もこれまでと同様、教職員に調査の目的をさらに周知する等、回答率の向上・確保を図りたい。

表1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1年生	95名	57名	46名	42名	240名
2年生	40名	24名	37名	24名	125名
3年生	67名	9名	27名	24名	127名
4年生	24名	0名	5名	5名	34名
5年生				3名	3名
6年生				2名	2名
学部計	226名	90名	115名	100名	531名

調査における質問項目をこの資料の最後に添付する。本調査では、学修支援に関して授業の難易度や支援の必要性を、学生支援に関して健康面・経済面等の支援の必要性を尋ねた。また、それぞれについて質問の後に満足度と判断理由を回答してもらった。さらに、今後の改善に向けた意見・アイデアを募っている。

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果をまとめる。なお、質問項目1と2は、それぞれ学修時間と「青森大学学修達成度評価ルーブリック」の自己評価に関する項目であり、これらの分析は別の資料にまとめている。

### 質問 3. 「学修支援」の必要性と評価

質問 3 は 6 項目で構成されており、このうち(ア)～(エ)では学修支援に関する状況把握と支援の必要性を回答する形式となっている。回答は、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 段階と「分からない」の中から選択させた。図 1～4 の配色は、次のようにしている。

#### 回答内容

■ : 「そう思う」、 ■ : 「どちらかといえば、そう思う」、 ■ : 「あまりそう思わない」、  
■ : 「そう思わない」、 ■ : 「分からない」、 ■ : 未回答

平均的な授業の難易度についての学部別回答分布は、図 1 のようになった。全学平均では「そう思う」が 7.53%と「どちらかといえば、そう思う」が 31.83%で、合わせて 4 割弱となった。前回 (2018 年度) は「そう思う」が 15.90%と「どちらかといえば、そう思う」が 33.64%で、後者はほぼ同率だったものの「そう思う」の回答率が 8.37 ポイント減少した。学部別にみると、ソフトウェア情報学部では 1.68 ポイントの微減であったが、総合経営学部が 8.51 ポイント減、社会学部が 13.12 ポイント減、薬学部が 16.19 ポイント減であった。これにより、昨年度の学部間の大きな差異はほとんど見られなくなった。

学年別 (5 年生と 6 年生は回答が少ないため含めない) では、「そう思う」の割合は、2018 年度は 1 年生が 20.31%で学年進行にともなって少しずつ減っていたが、今回は 1 年度が 10.00%で 2 年生以上は 3.93%から 6.40%の間となった。

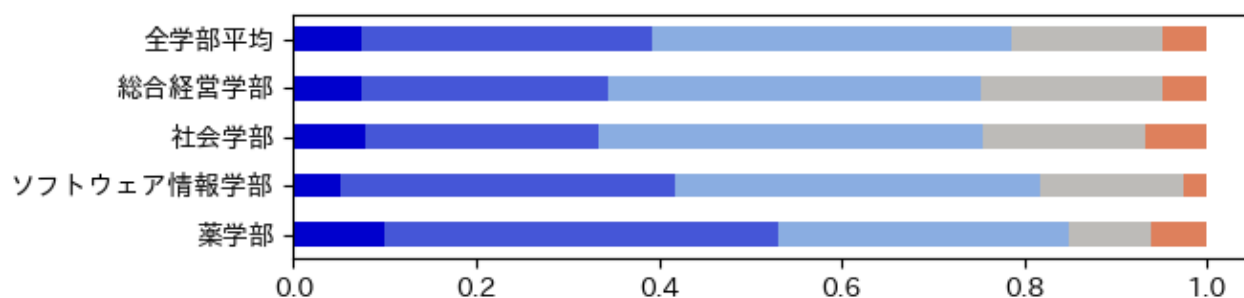


図 1 「3(ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか」の回答分布

また、普段の授業で難しさを感じることを問うたところ、回答分布は図 2 のようになった。質問内容が近い結果は 3(ア)と同様であったが、ソフトウェア情報学部と薬学部では「そう思う」の割合が 3(ア)よりも 10 ポイント程度も多く、学年別の結果も加えると、2 年次と 3 年次において学生にとって難易度の高い科目が存在しているとみられる。

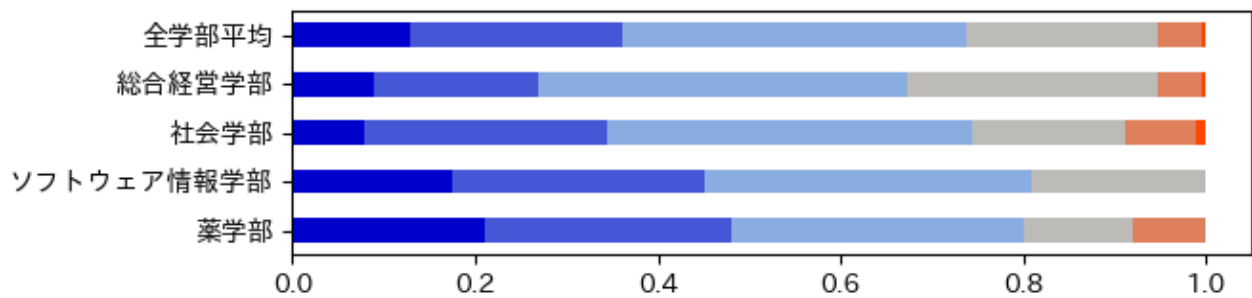


図2 「3(イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追いつけないと感じることはありますか」の回答分布

学修に対する支援を必要と思うかどうか尋ねたところ、結果は図3のようになった。グラフの形は全体的に3(ア)や3(イ)と似ているが、薬学部では「そう思う」と回答した割合が27.00%、「どちらかといえば、そう思う」を合わせると62.00%と高い結果となった。その他の学部でも何らかの必要性を感じている率は4割以上と高い。学年別では「そう思う」の割合は1年生が20.83%で学年進行にともない数ポイントずつ減少しており、とくに初年次での対応を検討する必要があると示唆される。

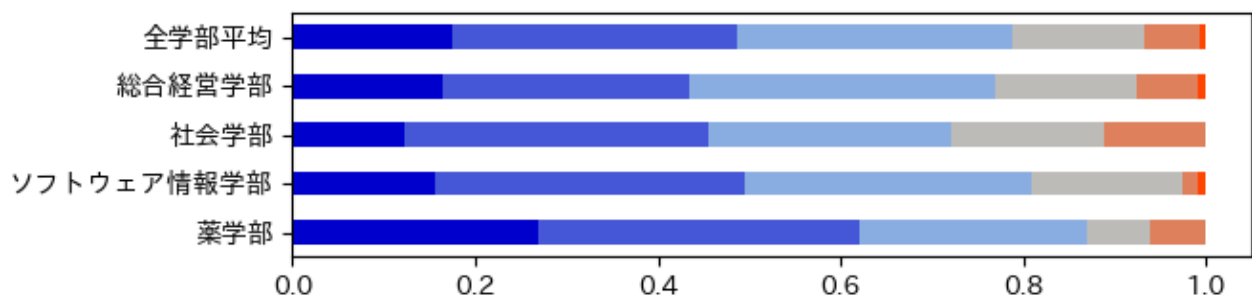


図3 「3(ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか」の回答分布

支援を必要としている学生が、実際に本学で提供している学習相談窓口やオフィスアワーなどの利用を考えるか確認した結果は、図4のようになった。3(ウ)での支援の必要性と比べると、ソフトウェア情報学部の率が大きく減り、他の学部も一定率減少している。これらのことから、支援が必要と考えているものの、実際に行動につなげようとしていない学生が一定数居るのではないかと考えられる。

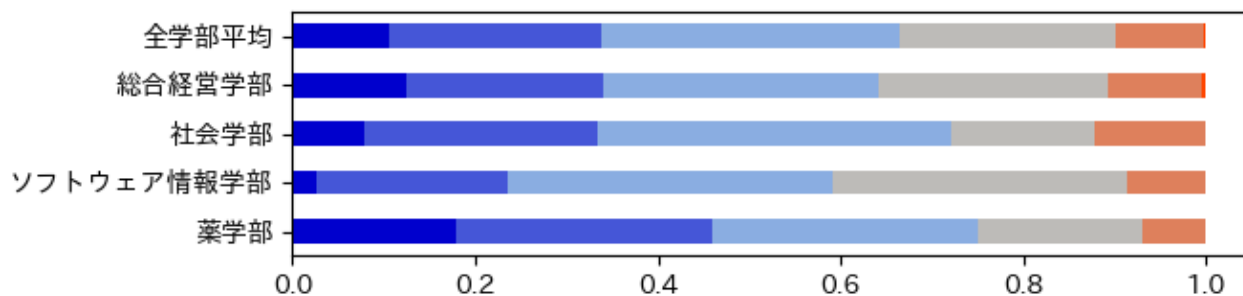


図4 「3(エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(エ)を踏まえ、3(オ)では学修支援に対する満足度を尋ねた(図5)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図5の配色は、次のようにしている。

回答内容



回答分布を見ると、全学的には「満足」が10.73%と低いが、「どちらかといえば、満足」を合わせると55.74%となった。残りの回答では「分からない」が14.69%と多めで、「不満(7.72%)」と「どちらかといえば、不満(21.47%)」の合計は29.19%であった。2018年度調査では総合経営学部が高く薬学部が低い傾向が見られたが、今回は学部間の差はほぼ見られない。学年別では、4年生の満足度が高い。

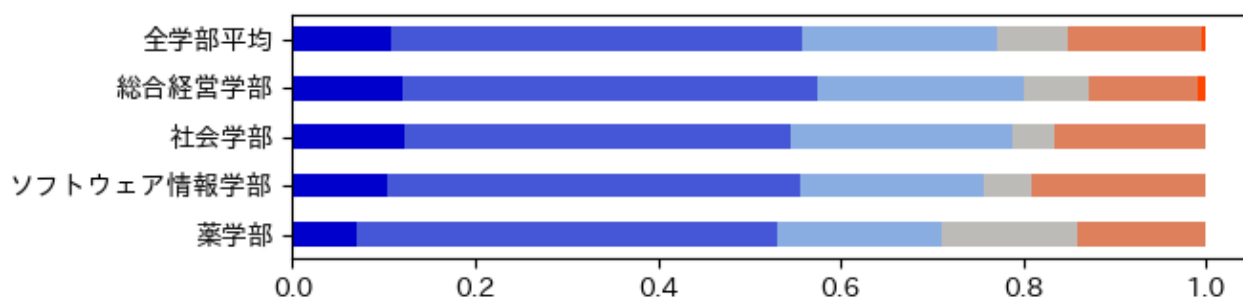


図5 「3(オ) 学修支援や学修環境についての満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

3(カ)では、前問(オ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は39.17%と、4割程度の学生が回答した。「満足」の理由としては、授業時の教員の工夫、困った際の支援等が、「どちらかといえば、満足」ではこの二点と合わせて学修環境の充実や特待生制度等が、それぞれあげられている。一方、「不満」の理由は授業時の指導法の不満や学修環境の不備等であり、「どちらかといえば、不満」にはこれら二つの他に授業の妨げとなる学生が居ることや学びたい内容と提供されている科目のミスマッチ等があげられている。

#### 質問 4. 「学生支援」の必要性と評価

質問 4 は 7 項目で構成されており、このうち(ア)～(オ)では、学生支援に関する状況把握と支援の必要性を尋ねている。回答は、質問 3(ア)～(エ)と同じく、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 段階と「分からない」の中から選択させた。図 6～10 の配色は、次のようにしている。

##### 回答内容

■ : 「そう思う」、 ■ : 「どちらかといえば、そう思う」、 ■ : 「あまりそう思わない」、  
 ■ : 「そう思わない」、 ■ : 「分からない」、 ■ : 未回答

初めに、心身の健康維持に対する支援の必要性を尋ねた (図 6)。全体では「そう思う」が 12.05%、「どちらかといえば、そう思う」が 21.47%で、合わせて 33.52%が必要性を感じている。2018 年度と比べて「そう思う」の割合は全学部とも減少しているが、社会学部は 2.38 ポイントしか減らなかったことから他学部よりも高い割合となった。

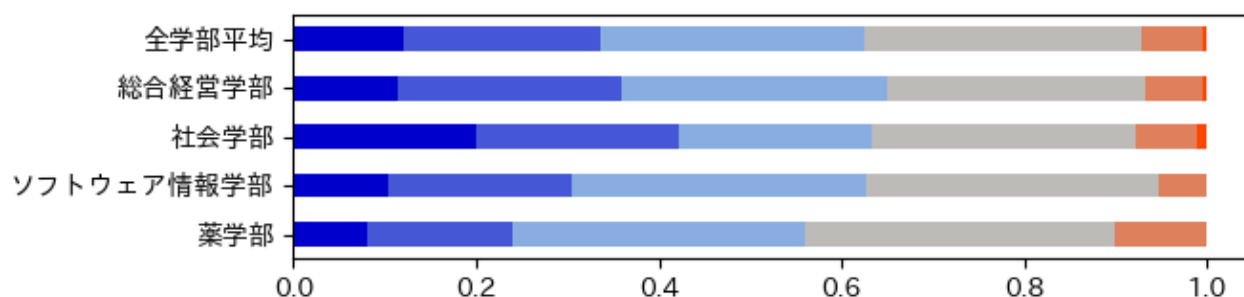


図 6 「4(ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

学費や生活費等の経済面での支援に対しては、図 7 の回答分布となった。前問と異なり社会学部で多少割合が低いものの、全体では「そう思う」が 45.39%、「どちらかといえば、そう思う」が 29.94%と、支援の必要性が高い。なお、この二つの率は 2018 年度とほぼ同じである。

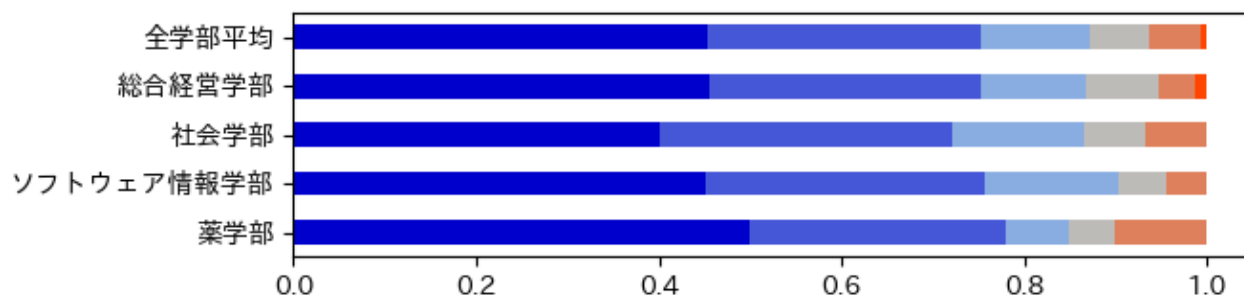


図 7 「4(イ) 経済面 (学費、生活費など) について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

本学は、総合経営学部や社会学部で部活動に取り組んでいる学生が多いが、こうした正課外の活動に

関しては、図8のようにこれら2学部で支援が必要と感じている学生が多い。ただし、2018年度はこの2学部は同様の傾向を表していたが、今回は社会学部で「そう思う」が15.82ポイントもの大きな減少が見られ、ソフトウェア情報学部の結果と近くなっている。また、薬学部では正課外活動に取り組む学生が少ないためか、「分からない」の割合が高い。

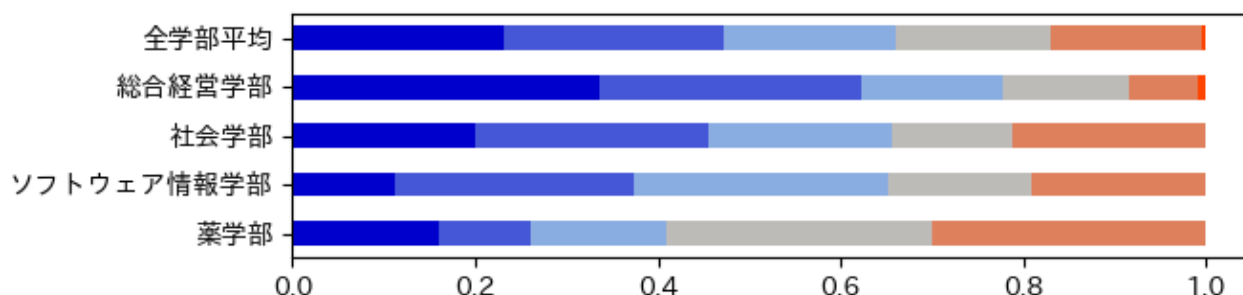


図8 「4(ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

他の学生や教職員との人間関係についての支援に対しては、図9の回答分布となった。全体的に2018年度と同じ結果であり、総合経営学部が他学部より支援を必要とする割合が高い。全体では、4割程度が何らかの必要性を感じている。

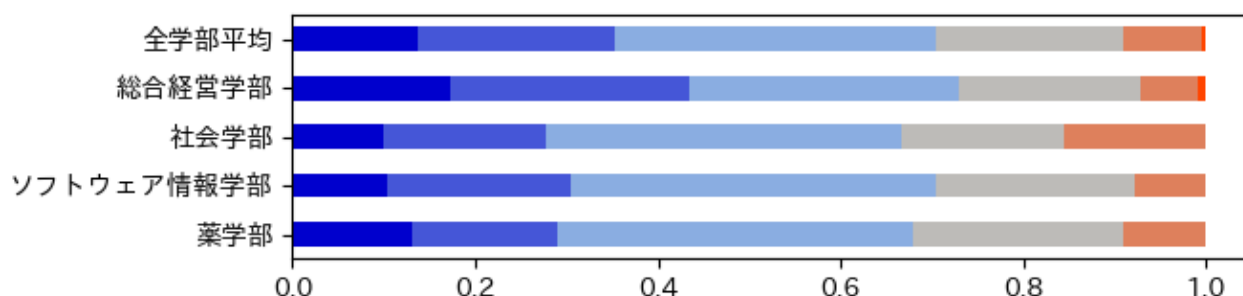


図9 「4(エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

4(ア)~(エ)では対象別に支援の必要性を尋ねたが、(オ)では支援を必要とする学生が、本学が提供している保健室、カウンセリング制度、及び相談窓口の利用を考えたかどうかを確認した。図10に見られるように、これらの制度の利用を検討する割合は低めであった。また、この結果は全体的に2018年度と変わらない。3(エ)の学修支援と逆に、何らかの必要性を考えている学生が薬学部で少なくなっている。

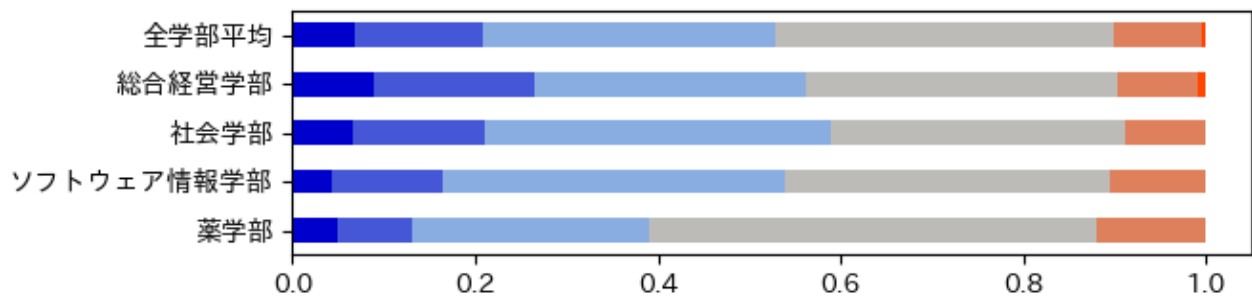
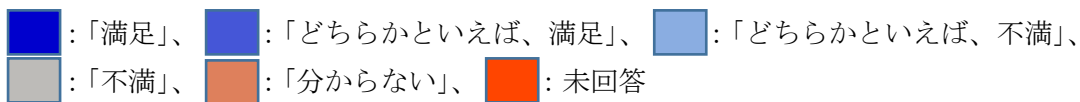


図 10 「4(オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(オ)を踏まえ、4(カ)では学生支援全体に対する満足度を尋ねた(図 11)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図 11 の配色は、図 5 と同じく、次のようにしている。

回答内容



全体では「満足」が 9.79%と低めのものの、「どちらかといえば、満足」の 47.08%を合わせると 56.87%が満足している傾向が見られた。一方、「分からない」が 15.07%と、2018 年度よりも 10 ポイント程度少ないものの、一定の割合居ることが分かった。2018 年度は総合経営学部と薬学部では、「不満」と回答した学生は居なかったが、今回はすべての学部で回答があった。学年別では 3 年次の満足度が低くなっている。

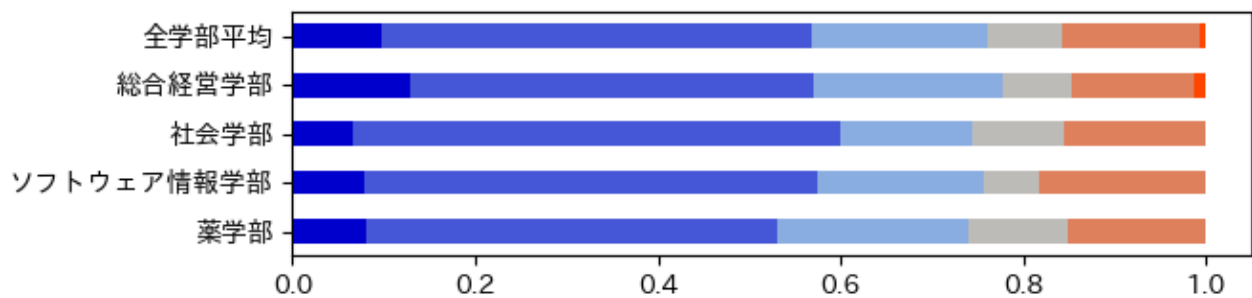


図 11 「4(カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

4(キ)では、前問(カ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は 31.45%であった。「満足」と「どちらかといえば、満足」に共通する理由として、特待生制度や教職員の対応の良さ、及び環境が整っていることがあげられている。一方、「不満」や「どちらかといえば、不満」の理由は、環境の悪さや経済面での支援の少なさに関する意見が多くあげられた。

## 質問 5. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください

この設問は、これまでの学修時間・学修行動調査で常に最後に尋ねてきたものである。ただし、「支援体制」は前回の調査から付け加えている。今回は 110 件の回答が寄せられた。以下に分類とそれぞれの主な内容をまとめる。

- 授業の方法
  - 授業時の私語対応、授業方法の工夫、資格取得・試験対策、カリキュラム改善
- 学生支援
  - 相談しやすい環境、掲示方法等の工夫、就職活動の支援強化
- 施設・設備
  - 授業外学修を行う環境、ネットワーク環境、冷暖房の環境、学内の清掃、全体的な施設・設備の改善
- その他
  - 学生の意見を集約する仕組みの運用、経済面の支援・改善

これらの内容は、前回までの学修時間・学修行動調査と同様のものも多い。

この設問（質問 5）の回答と、学修支援に関する満足度の回答理由（質問 3(カ)）、学生支援に関する満足度の回答理由（質問 4(キ)）は、それぞれ個人が特定されないようにした上で、内容を整理して教職員間で共有している。



## 2019 年度「学修状況・満足度調査」(満足度の部分)

3. 「学修支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っ  
ていますか
- (イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じるこ  
とはありますか
- (ウ) 学修に関して支援が必要だと思っ  
ていますか
- (エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはあり  
ますか
- (オ) 「学修環境」についての満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (カ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由  
に書いてください

4. 「学生生活に関する支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでく  
ださい。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (イ) 経済面(学費、生活費など)について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考  
えることはありますか
- (カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選ん  
でください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (キ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由  
に書いてください

5. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください